



# 八鹿青溪



貫徹 慎独 創造  
養父市立八鹿青溪中学校 校報  
(令和5年12月12日) 第24号



八鹿青溪中 HP

学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

## 第2回資源回収

12月3日(日)、PTA主催・生徒会協賛の第2回資源回収が行われ、寒い中でしたが、前回同様、生徒と保護者、そして教師が一体になって作業を行いました。地域の皆様におかれましては、八鹿青溪中学校のために資源回収にご協力をいただき、まことにありがとうございました。収益につきましては、大切に活用させていただきます。



## 第7回全校集会

12月4日(月)、第7回全校集会を行いました。今回も前回にひきつづき、まずは各種コンクール・大会等の表彰伝達を行いました。

表彰伝達後、下記のような話をさせていただきました。

### 【芸術・文化部門】

- ・県中学校総合文化祭美術部門 特選 1名 他入選2名
- ・但馬造形教育展 特選 3名 他入選3名
- ・養父市造形教育展 入選10名
- ・県幼小中造形教育展 特選 2名 他入選8名
- ・但馬文学のつどい 俳句の部 神戸新聞社賞 1名  
他短歌の部、川柳の部入賞各1名
- ・JA共済書道コンクール 努力賞4名

### 【運動部活動部門】

- ※校報号外で掲載した野球部近畿大会(近畿秋季少年軟式野球大会)準優勝の表彰伝達を行いました。
- ※野球部に全日本少年軟式野球大会但馬大会優勝の表彰伝達を行いました。
- ※野球部代表2名に近畿大会準優勝インタビューをしました。

「早いもので2学期も終わりに近づいていますが、12月22日の終業式には各担任の先生から皆さんが楽しみにしているものが貰えます。そうです、通知票です(生徒苦笑)。さて、この通知票にはいろいろなことが書かれていますが、その中でも各教科の評価・評定が気になりますね。さて、皆さんはどの教科が得意?または、好きなのでしょうか?今日は、それを



皆さんの拍手の大きさによって表していただきます。まずは、練習です。拍手!(👏👏パチパチパチパチ…!!)これが最高レベルの拍手として、国語!(👏パチパチ…!)、数学!(👏パチパチ…!)、社会!(👏パチパチ…!)、理科!(👏パチパチ…!)、英語!(👏パチパチ…!)、音楽!(👏パチパチ…!)、美術!(👏パチパチ…!)技術・家庭!(👏パチパチ…!)・・・では最後に保健体育!(👏パチパチ…!)。さて、教科の学習はこれで終わりですか?『総合!』(生徒の声)。うーん、総合的な学習は残念ながら教科ではありません。『学活!』(生徒の声)。これも残念ながら教科ではありません。『道徳!』(生徒の声)。そうです!道徳は教科です!しかも、『特別の教科 道徳』とか『道徳科』と呼ばれていて、これも担任の先生がきちんと評価をしてくださいます。では、そもそも道徳科は何の勉強なのでしょう?近くの生徒と少し話し合ってみてください。(約1分程度生徒話し合い) 答えを言います!道徳科の時間は“心の勉強”なのです。皆さんは人の心が見えますか?実験してみましょう。(校長無言でステージを歩く) さあ、今私は何を考えて歩いていましたでしょうか?生徒会長!『“今日の晩ご飯は何を食べようかなあ”だと思います』(生徒会長答える)。惜しい!惜しいけど違いますねえ。私は“先週の金曜日に食べたカニがおいしかったなあ”と思いながら歩いていました。このように、人の心は簡単には見えませんね。見えないものを評価することはとても難しいので、道徳科の時間では、皆さんがどのように頑張ったのかとかどんな学びがあったかなどに見える部分を担任の先生が評価してくださいます。他の教科と同じように道徳科の評価もきちんと見るようにしてください。」



## 交通事故防止運動

12月4日(月)夕方、南但馬警察署からの依頼を受け、生徒会役員のうち5名の生徒が交通事故防止運動を校区内の商業施設の駐車場にて行いました。当日は、寒い中ではありましたが、入店していくお客さんに対して啓発チラシやお土産を「交通安全お願いします!」という元気な言葉とともに手渡ししていききました。5名の生徒、ご苦勞様でした。



## 部活動の地域移行

「部活動の地域移行」。最近、新聞やテレビで報道される機会が増えており、保護者の皆さんもきっと目にされたことのある言葉ではないでしょうか。現在、国は中学校の部活動指導者を徐々に地域人材に委ねていく方針を打ち出しています。背景には教職員の労働環境の問題があります。特に中学校現場の長時間労働や休日出勤の大きな原因のひとつに部活動があるとされており、その部活動を将来的に学校から切り離していこうというのが「部活動の地域移行」なのです。実は、部活動は、長年に渡って中学教員のボランティア精神をもとに成立してきたという歴史があります。また、少子化の影響により単独校での部活動維持が難しくなっている点も「部活動の地域移行」の理由として挙げられます。そうすることにより、学校間をまたがった活動になり、小規模校生徒の選択の幅が広がると言われています。しかしながら、この「部活動の地域移行」は簡単に成し遂げられるものではなく、「部活動の指導をしようという地域人材がなかなか見つからない」「地域人材が見つかったとしても、大会運営(計画・立案・会場予約・競技役員・審判等)はどうするのか」「地域移行が進むにつれて保護者の経済的負担が増えるかも」・・・などの課題が指摘されており、全国的にまだまだ模索中であるというのが現実です。そんな中、養父市教育委員会はこの課題について先進的に検討を重ねてくださっています。まずは、アンケートを用意してくださっていますのでご協力ください。

